

# わーくウェル感謝と交流の集い

## 表彰者代表あいさつ

おう こうか ねんどしゅうりょうせい  
王 紅霞 (2010年度修了生)



みな  
皆さま、こんにちは。ただいまご紹介いただきました  
た、王紅霞と申します。

ほんじつ  
今日は、わーくウェル感謝と交流の集いにおいて表彰を受けましたこと、本当に嬉しく  
感謝の気持ちでいっぱいです。

わたくし こんねん ど ろうふくきょう しゅうしよく にほんごこうざ かいご にほんごこうざ じゅうこう  
私は今年度、労福協の「就職のための日本語講座」と「介護の日本語講座」を受講し、  
とくしまけんしゅうしよく しえん きこう きゅうようせいこうざ しかく しゅうとく じつ  
徳島県就職支援機構の「ホームヘルパー2級養成講座」で資格を取得しました。そして、実  
しゅうさき びょういん しゅうしよく がついつち ほとら はじ  
習先の病院に就職することができ、3月1日から働き始めたばかりです。

日本にきた当初は、いろいろな不安や心配がありました。言葉は分からないし、生活習慣  
も違うし、仕事ありませんでしたから、すぐくストレスがたまりました。

しごと きが い しよくいん かた がいこくじん しゅうしよく しえん  
仕事を探すためにハローワークに行ったとき、職員の方が「外国人の就職を支援する日  
本語講座がある」と労福協を紹介してくれました。「日本語が上手になって仕事もでき  
る！」と思った私は、「ぜひその講座を教えてください」とお願いし、連絡をとってもらいま  
した。

さいしょ こうざ ぼしよ ないよう ふあん い せんせいがた  
最初は、講座の場所も内容もわからなくて不安でした。行ってみると、先生方はみんなや  
さしくて、楽しく日本語を勉強することができました。

こうざ べんきょう めいし だ あいて よ  
講座では、ビジネスマナーの勉強もしました。たとえば、名刺を出すときに、相手が読み  
やすいように自分とは反対の向きにすることや両手で持って渡すこと、渡すときは顔をずつ  
み しつれい すこ しせん お みて みて みて  
と見たら失礼なので、少し視線を落とすのがいいということなどです。中国では、相手の顔を  
しっかりと見ないと失礼になります。握手しないとちょっと失礼です。

日本の生活習慣があまりわからなかったので、講座を受けて、すぐくよかったです。親戚  
のひとが家に来たときに、私の振る舞いを見て、日本の礼儀がわかっている、すばらしいと褒  
めてくれました。

しゅうしよく にほんごこうざ しゅうりょうご かいご う  
「就職のための日本語講座」修了後、「介護の日本語講座」を受けましたが、レベルが  
たか いちだん むずか かん くるまい す いじょう りようしゃ ふあん  
高く一段と難しく感じました。たとえば、車椅子への移乗のとき、利用者が不安にならな  
いように声がけをすることや、着患脱健という片麻痺がある人の着替えを介助するときのこ  
とばを覚えることなどは、とても難しいことでした。授業では、教科書を閉じて動作をつ  
おぼ おぼ むずか じゅうぎょう きょうかしょ と どうさ  
けながら、何回も練習しました。2か月間の介護の日本語講座では専門的な日本語がたくさ  
んあって、覚えるのがたいへんでしたが、このような講座を受けないと、ホームヘルパー2級  
ようせいこうざ むずか かん おも  
養成講座はもっと難しく感じたことと思います。

かいご しゅうりょう しゅうかんご きゅうようせいこうざ じゅうこう  
介護の日本語講座を修了した3週間後、ホームヘルパー2級養成講座を受講しました。  
ホームヘルパー2級養成講座では、教科書を勉強するのと、実際に現場に立つのとは違う

と感じられました。実習をするまえは、高齢者のお世話をするのは簡単だと思いました。でも、実際はたいへんでした。いちばんたいへんだったのが、おむつ交換で、その次が入浴介助でした。この仕事は私にはできない、もうやめたいと思いました。それでも、5日間実習して、だんだん慣れてきました。自分にもできるかなと、少し自信も出てきました。

この1年間で3つの講座を受けて、友だちもたくさんできて、日本語も上手になりました。毎日楽しく過ごせて、ストレスもだんだんなくなって、すごく幸せに感じられるようになりました。

先生は、講座が終わってからも、わからないことを尋ねたらいろいろと教えてくれたり、「王さん、どうですか。わからないところはないですか。」と心配して電話をくれたり、「だいじょうぶですよ、仕事できますよ」と励ましてくれたりしました。先生方やたくさんの方々のサポートのおかげで、就職することができました。本当にありがとうございました。

仕事や日本で暮らすための日常の日本語がもっともっと上手になりたいので、機会があれば、また、介護職員基礎研修などいろいろな講座を受けたいです。



徳島県労働者福祉協議会の皆さまにはこのようなチャンスをいただき、心よりお礼を申し上げます。就労支援のための日本語講座は、外国人が自分の能力を発揮して家族や社会のために役に立ちたいという願いをかなえてくれる講座だと思います。この講座がこれからも続くことを心から願っています。

きょうは本当にありがとうございました。



2011年3月5日 徳島県労福協 35周年記念「わーくウェル感謝と交流の集い」